

令和7年度 第2回大台町立小学校のあり方検討委員会 議事録

令和7年6月23日(月) 14時00分～
大台町役場2階 大会議室

【出席者】 齋藤 平、竹内 一、西村 茂、上瀬恵子、森井哲永、松崎寛子
【事務局】 福岡 佳久(教育長)、山下 晃(子ども教育課長)
門野 恭行(学校再編係長)、小野 真由(学校再編係主事)

1. あいさつ

大台町教育委員会 教育長 福岡 佳久

2. 報告事項

- 1) 第1回大台町立小学校のあり方検討委員会の報告について 資料1
資料1のとおり

(訂正)

複式学級については、川添小学校は現在、複式学級、宮川小学校は令和8年度以降に複式学級になる予定です。

3. 協議事項

- 1) アンケートについて 資料2

① アンケート調査 概要

「大台町の子どもたちのより良い教育環境を考える」アンケート調査

② アンケート調査 対象者

③ アンケート 実施方法

④ アンケート 調査項目 資料3

⑤ アンケート調査 実施期間

⑥ その他

事務局より、アンケートの名称、実施の有無、調査の概要、対象者、実施方法、調査項目、実施期間について説明しました。名称案として事務局より「子どもたちのより良い教育環境を考える」を提案しましたが、委員より大台町の名前を含めることが提案され、賛成されました。アンケート調査の概要については、資料に基づき、調査対象者や方法についての検討が求められました。

アンケートの対象者については、未就学児の保護者、小中学校の保護者、教職員、区長、学校評議員、商工会に絞ることが提案されました。しかし、一般住民の意見も必要との意見

があり、区長を通じて地域の意見を集める方法が議論されました。区長の意見に偏りが出る可能性を指摘し、慎重な検討を求めました。また、子どもたちへのアンケートについても意見が分かれていましたが、実施していくことで確認しました。

アンケートの実施方法については、児童生徒には学校のタブレットを利用し、保護者や地域住民には紙とデジタルの併用が提案されました。委員からは、保護者への連絡が基本的に紙ベースであることを確認し、QRコードを用いたデジタル回答の併用を提案しました。

アンケート項目に関しては、委員からは学力に関する項目の追加を求め、地域とのつながりを重視する意見も出されました。回答理由を記載する欄を設けることの提案、質問の流れを整理することを求めました。児童用アンケートの依頼文についても簡潔にすることが求められました。

アンケートの実施期間は、委員長と副委員長に一任され、教職員へのアンケートでは、複式学級の利点と課題、少人数学級の良さや課題についても尋ねることが提案されました。小規模校と大規模校のメリット・デメリットについても教職員の理解を確認したいと述べました。

最後に、アンケートの最終内容は事務局が再度検討し、委員長と副委員長が確認することになりました。参加者はアンケートの重要性を認識し、幅広い意見を集めることの必要性を確認しました。アンケートの内容については、委員からの意見を反映しつつ、最終的な形に整えることが求められました。

2) その他

① 次回、検討会の内容について

各小学校及び各校区、放課後児童クラブの視察について

- ・ 視察先について
- ・ 委員会の会議時間について

次回の検討委員会では、大台町の4つの小学校と3つの放課後児童クラブの視察が行われます。視察の主な目的は校舎の老朽化の確認です。委員からは、すべての施設を視察するのではなく、絞ること、また、合同の放課後児童クラブを特に見学したいと意見がありました。集合場所は効率を考慮して日進小学校を起点とする案が出され、事務局に一任されました。視察には委員全員が参加し、各学校の状況を確認する予定です。

次回、開催予定日 令和7年7月29日（火） 13時00分から